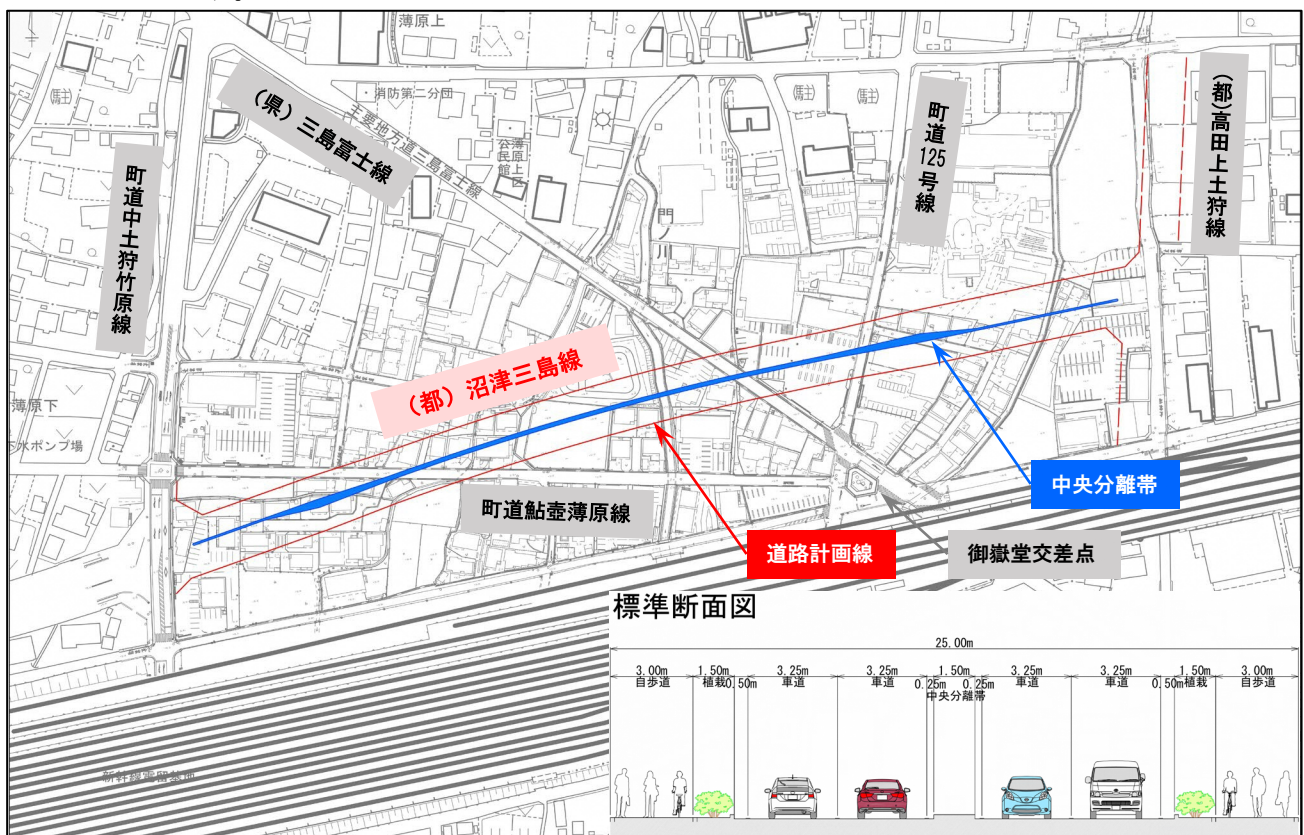


○(都)沼津三島線の整備について

- ・(都) 沼津三島線が中土狩竹原線から(都) 高田上土狩線区間で整備され、道路中央には、中央分離帯が設置されます。
- ・現時点の幅員は、3.25mの車道部が4車線 (片側2車線)、両側に3.00mの自転車歩道者道や1.50mの植栽帯等が設けられ、全幅25.00mの道路となる予定です。
- ・県道三島富士線、町道125号線、町道中土狩竹原線の3路線が(都) 沼津三島線の交差路線となります。



○第3回(都)沼津三島線整備検討会を行いました

第2回整備検討会に続き、(都) 沼津三島線の整備に向けて、各地域の代表の方々にお集まりいただき、検討会を開催しました。

第3回整備検討会は、第2回整備検討会で検討した各班の整備検討(案)を基に作成された1つの代替案について、代替案の実現性や現況の交通量を踏まえた効果、課題等を各班で検討し、意見を出し合いました。

詳細は、裏面へ

※なお、本整備検討会は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加者全員の検温と消毒を行う等、十分に配慮した上で、開催しております。

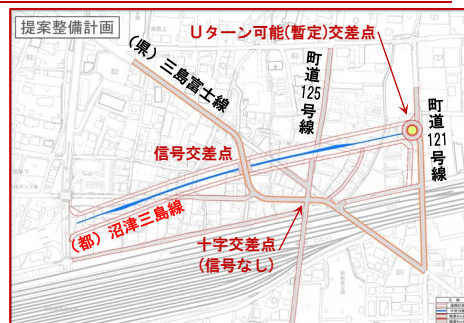
○第3回(都)沼津三島線整備検討会の様子

①整備方針の検討

第2回整備検討会で作成した各班の整備方針(案)を基に、右図の代替案を作成した。

代替案の特徴を以下にまとめる。

- 交差点位置：(県)三島富士線との信号交差点
- 町道125号線の交通：暫定的にUターンが可能な交差点
- 十字交差点：(県)三島富士線と町道125号線の交差



【A班整備検討(案)】

- 交差点位置
 - ・町道125号線との交差に再検討
 - ・町道125号線の線形変更+拡幅
- 提案：
 - ・交差点を設けない状態で道路の供用を開始
 - 交通推移の状況を踏まえ、交差点位置を決定



【B班整備検討(案)】

- 交差点：右折車線の整備が必要
- 懸念事項
 - ・中土狩竹原線への交通の負荷増加による渋滞の悪化
 - ・Uターン構造で町道125号線の交通量を捌けない懸念
 - ・門ノ川を活用した道路整備による道路高の調整可否

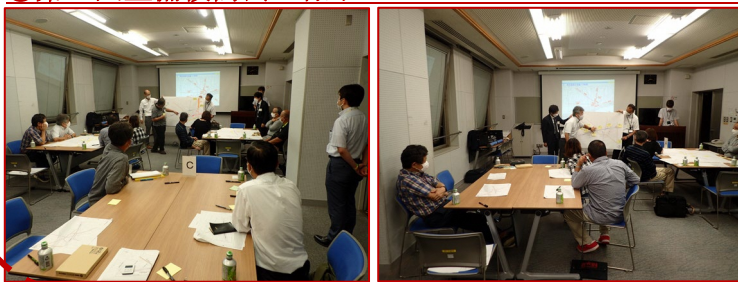


【C班整備検討(案)】

- 懸念事項
 - ・(県)三島富士線と町道125号線の交差部付近は、交通が集中するため、危険な交差点となる
- 提案
 - ・町道123号線を三島駅方面に一方通行→交通集中の緩和
 - ・町道38号線を町道121号線まで延伸→交通集中の緩和



②第3回整備検討会の様子



③次回の整備検討会について

整備検討会は、全4回を予定しており、次回(最終回)の第4回整備検討会は、10月下旬~11月中旬に開催する予定です。